

ALIA 中期活動計画・今後の展望

ALIA は、設立以来、「優良な住宅部品の普及により快適な住生活の改善を図る」という設立趣旨に沿って活動してきた。社会情勢及び住宅産業を取り巻く環境の変化に伴い、快適な住生活の実現のために住宅部品が果たすべき役割はより大きく、かつ多様化している。設立 30 周年を迎えるにあたり、次の 10 年に向けた活動の基軸とすべく、ALIA のミッションを定義するとともに、中・長期的に実施する重要事項を中期活動計画として掲げ、会員協働で取り組むこととする（図 1・2）。また、国連が掲げる SDGs の 17 の目標から事業活動と関わりの深い目標を併記することで、事業活動が社会課題の解決、住宅産業の持続的な発展に寄与することを認識し、その実現に貢献すべく計画を実行していく。

中期重点活動として、以下三項目を掲げる。

1. 良質な住宅部品の供給・普及

環境、健康を重点テーマとし、住宅の省エネ化、温熱環境整備に資する住宅部品の調査研究、開発、供給、普及に努める。BL-bs 部品をはじめとした優良住宅部品や良好な温熱環境実現につながる推奨品の開発を促進し、広く供給する。会員企業と協働による消費者認知の促進、事業者の知識・スキル向上を図り、普及につなげていく。働き方改革、自然災害に対するレジリエンス向上など、新たな社会要請に対応し、新しい技術・サービスの情報を収集しつつ、社会課題の解決に貢献する住宅部品の研究に取り組んでいく。

2. 「住宅部品の点検」を核とした優良住宅ストック社会実現への貢献

住宅部品の点検促進活動をさらに進化させ、優良住宅ストック社会の実現に貢献する。

ユーザー視点に立って、長期使用における安全安心な住宅部品のあり方を追求していく。また、IoT や AI など新たな技術動向を踏まえて、新たな住生活サービスと住宅部品の研究を進める。関連団体と連携し、点検の実態を把握するとともに、居住者への情報提供を強化し、定期点検から故障する前の取替えを促進する。修理修繕からリフォームへつなげる提案を行うことで、良質な住宅ストックが適切に維持管理され、流通し、住み継がれる社会の実現を目指す。

3. 情報発信・政策提言・提案の強化

「いいものを作って、きちんと手入れして、長く大切に使う」社会への移行をより着実なものにするために、行政・関連団体との連携を強化し、政策提言や提案、情報発信を行っていく。より多くの消費者の快適な住生活の実現につながるよう、調査研究や住宅部品に関するデータの提供、協会サイトや会誌などの媒体を活用した情報発信を積極的に進める。

関係省庁、諸団体と連携し、会員一体となって活動を進めることで、住生活の向上と住宅産業のさらなる発展を目指していく。

ALIA のミッション

(1) 良質な住宅部品の供給・普及

- ①機能、品質の担保、業界横断での性能要件の開発
- ②良質な住宅部品の普及・啓発活動
- ③住宅部品にかかわる諸問題の解決

(2) 優良住宅ストック社会実現に向けた貢献

- ①適切な維持管理、取替え・リフォームを促進する仕組みの研究
- ②市場環境整備に向けた政策提言
- ③関連団体と連携による市場基盤の整備

図 1

中期活動計画（計画期間 2020～2025 年）

I. 良質な住宅部品の供給・普及

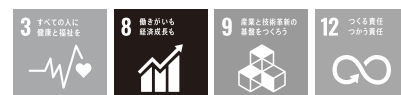
(1) 環境・健康に配慮した住宅部品の供給・普及

- ①住宅の省エネ化／温熱環境整備に資する住宅部品の普及促進
- ②住宅政策への提言・反映／国策対応・浸透
- ③事業者の知識・スキル向上
- ④消費者認知・啓発の促進



(2) 住宅・住宅部品に関わる新たな課題への対応

- ①新たな社会要請への対応
- ②新しい技術・サービスの研究



II. 「住宅部品の点検」を核とした優良住宅ストック社会実現への貢献

(1) 安全安心な住宅部品のあり方の追求

- ①長期使用（経年劣化）と製品寿命に関する課題の整理
- ②新たな技術・サービスによる住宅部品のあり方の研究



(2) 適切な維持管理（点検）からリフォームへつなげる仕組みの構築

- ①「定期点検→故障する前の取替」具現化に向けた取り組み
- ②点検を良質な住宅ストック形成に結びつけるための取り組み



III. 情報発信・政策提言・提案の強化

(1) 政策提言、市場基盤構築につながる提案の強化

- ①政策提言体制の構築
- ②主要団体との連携強化



(2) 情報発信の強化

- ①消費者認知・浸透につながる情報発信・媒体の活用
- ②関連団体と連携による重点テーマ（温熱／省エネ、点検／リフォーム）の普及・啓発

図 2